



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第47巻第
11号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第47巻第11号). 泌尿器科紀要 2001, 47(11): 838-838

ISSUE DATE:

2001-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114632>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編 集 後 記

現在，日本の大学は，トップ30の選出，独立行政法人化を視野に入れ，教育，研究（医学部では診療も）に関する外部評価のまったなかにある。医学部においてはスーパーローテーション導入による卒後臨床研修必修化も大変な作業である。そのようななか，毎日膨大な書類が政府関係や事務部から回ってくる。全てに目を通すことなど到底不可能である。また内容を読んでも，いかにも事務屋さんが書いたというような，言葉だけが重く内容の乏しい文章が繰り返されている。（論文を出来るだけコンパクトに書くことを習慣にしている科学者には絶対に書けない文章である。）

コンピュータ（ワープロ）が発達し文書作りの効率は極めて高くなった。しかし，読んで理解する我々の能力は全く進化していないのである。分厚い資料であれば評価されるという時代はとっくの昔に終わっていることを理解してほしいものであるし，我々も出来るだけコンパクトな情報の発信をこころがける必要があると思う。内容が乏しくわかりにくい文章を書いて配った人間は罰せられるという法律を作ってほしいと思う今日この頃である。

（小川 修）